

昨年度もお話しましたが、今から26年前の1995年、1月17日に阪神淡路大震災がありました。今年は1月17日が日曜日になるので、今日は朝会の日ではありませんが、特別にお話をしています。阪神淡路大震災は午前5時46分ととても朝早い時間におこりました。この地震により6千人以上という多くの人々が命を失いました。多くの人々が寝ている時間だったので、急には逃げられなかったことも大きな原因の一つと思われます。先生は地震があった時、神戸の大学に通っていたので、たくさんの友だちや知り合いが地震の被害にありました。先生の知り合いには頭の上に重たいテレビが落ちてきて、その衝撃で命を落とした人もいましたし、同じ下宿で建物の下敷きになり亡くなった人、地震のあとの火事にまきこまれ、逃げられなかった人もいました。

地震はいつ起こるかわかりません。寝ている間に起こることもあれば、学校にいる時に起こることもあります。みなさんも自分が寝る場所の近く、特に頭の上に倒れてきたり、落ちてきたりするものがないか、このような機会におうちでも話し合い、危険がないかを確認して欲しいと思います。大阪市に住んでいるものの一人として、やはり1月17日はこれからも忘れずに語り継いでいかなければならない

日の一つです。テレビや新聞の記事で特集があると思いますので、ぜひどのようなことがあったかをみなさんも見るようにしてください。

次に大切な連絡があります。阪神淡路大震災が起こったこの時期にみなさんに地震のことについて考えて欲しいと思います。ですから、来週の月曜日から金曜日までのどこかで避難訓練を行います。今回の避難訓練は、いつ起こるかがわからない地震を想定しています。ですから、訓練がいつ行われるかは、わかりません。いつかわからない訓練だからより実際に近いと思います。練習は本番だと思って真剣に取り組まないと意味がないので、ぜひ良い訓練にできるよう、みなさん協力してください。